

8. 教育改善

- ① 授業計画(シラバス)…………… すべての学部・研究科と専門学校で作成しており、学生に冊子を配付しているほか、web でも閲覧できる。カリキュラムに含まれる全ての授業科目について、授業科目の概要、学習目標、各回の学習内容と課題、成績評価の方法や基準、学習の準備などが示されており、学生には授業に臨む際の指針となっている。
- ② FD活動…………… 全学 FD 委員会を設置し、教育研究に携わる教員の資質向上と能力開発を目的として FD 研修や各種研修への教員の派遣などを行っている。また、各学部・研究科の FD 委員会主催による FD 活動も活発に行われている。
- ③ 授業評価アンケート…………… 授業方法の改善と開発を目的として、学生による授業評価アンケートを実施しており、教員はアンケート結果を参考にして次年度以降の講義に役立てている。
- ④ 授業公開(参観)…………… 授業改善と教育力の向上を目的として、教員相互間の学び合いと位置付けられる「授業公開(参観)」を実施し、「授業参観カード」による意見交換を通じて授業担当者の更なる授業改善に役立てている。
- ⑤ 教育向上・改善プログラム…… 2015年度から、本学の教育の改革・改善をすすめることを目的に、学内公募による「教育向上・改善プログラム」を実施し、教育の質の向上、改善に資する取り組みを支援している。

(1) 授業計画(シラバス)

各学部・研究科、専門学校でシラバスを編集、発刊しており、教務日程や授業時間割をはじめ、授業の概要、学習(到達)目標、授業ごとでの学習(授業)内容、事前学習の指示、成績評価の方法、教科書、参考書、参考文献等について学生に情報を提供している。また、各学部教育課程をカリキュラムマップあるいはカリキュラムツリーとして明示しているほか、教員のオフィス・アワーなども掲載している。また、大学ホームページでは、各学部等のシラバス PDF 版が閲覧できる。

シラバスの主な活用方法

- ・学生の科目選択のための情報提供
- ・学生の事前学習のための情報提供
- ・学部のカリキュラム検討の資料
- ・図書館の蔵書購入のための基礎資料

(2) 学生生活アンケート

学生生活アンケートについては、2014年度以前は概ね4年毎に調査を実施してきたが、2014年度からは、全学的な学生の傾向を分析すること、学生の学修状況の実態や学修行動を把握し、本学の学修環境や教育力の向上・改善に資するため、毎年度調査を行うこととしている。

アンケート項目は、学習時間、学内施設・サービスの利用状況や満足度、アルバイト・サークル活動等の状況等で2019年度の主なアンケート結果は以下のとおりである。

1. 回答数 2,468名(回答率75.8% 2019.8.1現在 歯科衛生士専門学校分を除く)

2. 主なアンケート結果

① 週あたりの授業や実験・実習等に出る時間

	人数	割合(%)
4時間未満	213	8.6
4～8時間	382	15.5
8～12時間	263	10.7
12～16時間	243	9.8
16～20時間	462	18.7
20時間以上	857	34.7
無回答・無効等	48	1.9
合計	2,468	

② 一日あたりの学習時間(予習・復習含む)

	試験期間以外		試験前・期間中	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
1時間未満	1,259	51.0	91	3.7
1～3時間	945	38.3	298	12.1
3～6時間	200	8.1	943	38.2
6～8時間	30	1.2	645	26.1
8時間以上	28	1.1	476	19.3
無回答・無効等	6	0.2	15	0.6
合計	2,468		2,468	

③ 一日あたりのインターネット利用時間(スマホ・タブレット・携帯等含む)

	学習を目的とした利用		学習以外を目的とした利用	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
利用しない	428	17.3	59	2.4
1時間未満	1,276	51.7	183	7.4
1～2時間	465	18.8	664	26.9
2～4時間	187	7.6	946	38.3
4時間以上	89	3.6	601	24.4
無回答	23	0.9	15	0.6
合計	2,468		2,468	

④アルバイト等の週あたりの平均時間

	アルバイト		学内サークル活動		学外サークル、ボランティア活動	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
1時間未満	112	4.5	391	15.8	205	8.3
1～6時間	369	15.0	543	22.0	191	7.7
6～12時間	463	18.8	152	6.2	62	2.5
12～18時間	431	17.5	38	1.5	15	0.6
18時間以上	230	9.3	22	0.9	6	0.2
していない	863	35.0	1,322	53.6	1,989	80.6
合計	2,468		2,468		2,468	

(3)授業評価アンケート(学生対象)

全学FD委員会では、2000年度から学生による授業評価アンケートを試行し、2004年度からは、試行時の設問項目を見直したうえ刷新して、本実施している。

2014年度には、それまでの設問項目と内容の全面的な見直し作業を行い、その結果に基づき、2015年度からは、改訂後の新項目によりアンケートを実施している。

アンケート結果は、担当教員にフィードバックするとともに、学内専用サイトに開示しており、授業方法や内容等の改善などへの活用を図ることが期待される。

学 部	時 期	実施科目数		
		2018年度	2019年度	対前年度増減
薬学部	前期	47	51	+ 4
	後期	44	47	+ 3
歯学部	前期	56	56	0
	後期	47	50	+ 3
看護福祉学部	前期	86	80	- 6
	後期	86	89	+ 3
心理科学部	前期	23	42	+19
	後期	21	39	+18
リハビリテーション科学部	前期	99	104	+ 5
	後期	85	93	+ 8
医療技術学部	前期	-	18	+18
	後期	-	18	+18
計	前期	311	351	+40
	後期	283	336	+53
大 学 合 計		594	687	+93
歯科衛生士専門学校	前期	18	22	+ 4
	後期	0	23	+23

2019年度授業評価アンケート結果(全学部平均/自由意見を除く)

評価:1.強くそうは思わない 2.そうは思わない 3.どちらともいえない 4.そう思う 5.強くそう思う

自己評価	2018年度		2019年度	
	前期	後期	前期	後期
1 この授業に費やした自己学習時間は、週に 1時間未満(1)、1時間以上～3時間未満(2)、3時間以上(3)	1.46	1.45	1.46	1.44
2 自分はこの授業に意欲的に取り組んだ	3.79	3.83	3.82	3.82
3 この授業を受けるために、シラバスを有効に活用した	3.35	3.44	3.36	3.41
4 シラバスで求める授業の履修目的を達成できた	3.58	3.66	3.61	3.66
5 授業により、新しい知識、考え方、技能を修得でき、さらに勉強したくなった	3.81	3.86	3.83	3.84
授業について				
1 授業はシラバスにそって体系的に行われていた	3.96	3.99	4.00	4.03
2 教員の熱意が伝わった	4.13	4.15	4.16	4.19
3 授業での声の聞きやすさ、板書やスライドの文字等の見やすさは適切だった	4.03	4.06	4.08	4.10
4 授業は、理解しやすいよう工夫され、わかりやすく進められた	4.04	4.06	4.08	4.10
5 テキスト、プリント、スライド、IT機器などを適切に利用し、理解に役立った	4.07	4.09	4.11	4.11
6 教員は、学生の質問(授業時間外を含む)・発言等に適切に対応した	4.08	4.10	4.10	4.11
7 授業は適切な速さで行われた	4.06	4.07	4.08	4.10
8 適切に授業外学習(レポート、宿題、自習)などを課した	3.99	3.99	3.99	3.99
9 学んだ分野や関連する分野への関心が広がる授業であった	4.05	4.08	4.07	4.09
10 価値のある授業であった(総合的に良い授業であった)	4.13	4.14	4.16	4.17

※ 11と12は 教員の自由設問のため割愛

(4) 授業公開(参観)

授業公開(参観)制度は、授業を公開(参観)することで授業担当者の更なる授業改善と教育力の向上に資すると共に、学生の学習効果を高めることを趣旨・目的として、2012 年度より本実施をしている。教員相互間の学び合いのシステムとして捉え、学生にとって魅力ある学びの多い授業を提供し、組織的教育の確立を目指し更なる促進が期待される。

授業公開(参観)実施状況

期	学部等	2018 年度								2019 年度									
		公開科目数 (のべ講義数)	参観者実数(所属学部内訳)								公開科目数 (のべ講義数)	参観者実数(所属学部内訳)							
			薬	歯	看	心	リハ	衛		薬		歯	看	心	リハ	衛			
前期	薬学部	3 (6)	14	14							9 (15)	18	17			1			
	歯学部	6 (12)	9		9						2 (4)	2		2					
	看護福祉学部	13 (74)	12			12					8 (59)	6			6				
	心理科学部	4 (11)	3				3				1 (1)	1				1			
	リハビリテーション科学部	10 (52)	10				1	9			6 (21)	5				1	4		
	医療技術学部	0 (0)	0								0 (0)	0							
	全学部共通	1 (10)	2			1	1				0 (0)	0							
	歯科衛生士専門学校	0 (0)	0								0 (0)	0							
計	37 (165)	50	14	9	13	5	9	0	26 (100)	32	17	2	6	3	4	0			
後期	薬学部	3 (17)	5	5						1 (3)	2	2							
	歯学部	4 (8)	4		4					3 (7)	4		3	1					
	看護福祉学部	10 (20)	9			9				8 (33)	5			5					
	心理科学部	2 (2)	2				2			3 (3)	3				3				
	リハビリテーション科学部	10 (39)	7		1			6		3 (10)	3		1			2			
	医療技術学部	0 (0)	0							0 (0)	0								
	全学部共通	0 (0)	0							0 (0)	0								
	歯科衛生士専門学校	0 (0)	0							1 (15)	3						3		
計	29 (86)	27	5	5	9	2	6	0	19 (71)	20	2	4	6	3	2	3			
合計	薬学部	6 (23)	19	19						10 (18)	20	19			1				
	歯学部	10 (20)	13		13					5 (11)	6		5	1					
	看護福祉学部	23 (94)	21			21				16 (92)	11			11					
	心理科学部	6 (13)	5				5			4 (4)	4				4				
	リハビリテーション科学部	20 (91)	17		1		1	15		9 (31)	8		1		1	6			
	医療技術学部	0 (0)	0							0 (0)	0								
	全学部共通	1 (10)	2			1	1			0 (0)	0								
	歯科衛生士専門学校	0 (0)	0							1 (15)	3						3		
計	66 (251)	77	19	14	22	7	15	0	45 (171)	52	19	6	12	6	6	3			

(5) 教員ハンドブック

教員ハンドブックは、特に、新たに私立大学の教員として就任した者に必要となる教育活動、研究活動、管理運営等に関する様々な情報を 1 冊の冊子に取纏め、1999 年 3 月に初版を発行した。その後、FD 活動の活性化に伴い、本学が医療系総合大学であることや教育の課題、入学生の特色等を考慮した内容を取り入れ「FD ハンドブック」として 2003 年 3 月に第 2 版を発行した。なお、2013 年度に、全面的に項目と内容の見直しを行い、Web 上で公開している。

(6) FD ニュースレター

教員の FD に対する意識を高め、教員相互の FD に関する情報の提供・交換の場とするため 2001 年 3 月に創刊し、全教職員に配付しており、FD に関わる情報発信の拠点と位置付けるものである。2017 年度の第 18 号では、全学 FD 委員会ならびに各学部・学校等の FD 活動の取り組み、授業公開(参観)の実施状況そのほかについて報告する。

(7) FD 研修

ファカルティ・ディベロップメント(Faculty Development, FD)とは、授業内容・方法等の改善・向上をはじめとして、教育・研究の改善等の職能開発のための活動への組織的取り組みである。FD 研修は、FD 活動の一環として、教員の資質向上と能力開発等を目的に実施され、全学 FD 委員会のほか各学部・研究科 FD 委員会による取り組みが活発に行われている。

① 新任教員研修

全学 FD 委員会主催による新任教員研修は、2004 年度から実施しており、新規採用の教員を対象に、本学の使命等について理解を深めるとともに、それをふまえて、本学の最近の動向と現状等にそった教員としての在り方や大学における役割等を認識し、学生を中心とした教育を目指す観点から、教育内容を検討するとともに、学生が能動的に学ぶための具体的行動目標を設計できることなどを目的としている。

【2020 年度 全学FD研修(基本編)】

開催日時: 2020 年 4 月 6 日(月) 10:00-16:30(予定)

開催場所: 当別キャンパス 中央講義棟 C52

参加者: 2020 年度4月1日付け新規採用教員及び前年度中途採用教員・全学 FD 委員

テーマ: 学生を中心とした教育をすすめるために -北海道医療大学のユニバーシティ・アイデンティティについて考える-

開催中止: 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中止

②FD 研修

【2019 年度 全学FD研修(テーマ編)】

開催日時: 2019 年 8 月 9 日(金) 9:30-16:45

開催場所: 当別キャンパス・中央講義棟

テーマ: 学生を中心とした教育をすすめるために -IR を活用した学習支援の方法-

開催内容:① レクチャー 「IRの現状と今後の活用方法について」

開催内容:② 話題提供 「各学部における学習支援の状況」

開催内容:③ ワークショップ 「IRを活用した学習支援の方法を考える」

開催内容:④ グループ発表・討論

FD 研修(テーマ編)参加者数[FD 委員(委員長を除く)を含む]

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
薬学部	7	7	5	7	6
歯学部	6	6	6	8	8
看護福祉学部	看護学科	5	5	6	5
	臨床福祉学科	5	5	4	2
心理科学部	臨床心理学科	2	2	2	3
	言語聴覚療法学科	—	—	—	—
リハビリテーション科学部	理学療法学科	5	3	2	3
	作業療法学科	4	4	2	2
	言語聴覚療法学科	2	1	3	2
医療技術学部	—	—	—	2	2
全学教育推進センター(大学教育開発センター)*	3	8	7	2	4
予防医療科学センター(個体差医療科学センター)	—	—	—	—	—
歯科衛生士専門学校	—	—	1	1	1
事務局	3	2	—	2	2
学生(SCP)	—	—	—	1	1
計	42	43	38	41	41

*:各学部の全学教育推進センター所属の教員は「全学教育推進センター」に計上 ※2019 年度アドバイザーは所属学部に計上

【2019 年度 FD 研修(セミナー・講演会)】(2019 年度実施状況[各学部・研究科 FD 委員会 主催との共催を除く])

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	9 月 27 日(金) 15:30~17:00	全学 FD 講演会 採択される科研費のノウハウ	岡田 益男 (東北大学特任教授・名誉教授)	教員 73 大学院生 3 職員 3
2	12 月 3 日(火) 15:30~16:40 当別 C	全学 FD 講演会 文献収集から論文作成までのプロセスを効率化! 北医療 Search+RefWorks 講習会(予定)	大和田 啓太 (株式会社 サンメディア)	教員 19 職員 2 大学院生 6 学生 7
	12 月 3 日(火) 17:20~18:30 あいの里 C			教員 8 職員 5 研修医 2 大学院生 3
3	3 月 5 日(木) 17:15~18:30	全学 FD 研修[学部 FD] ①禁煙教育について(予定) ②禁煙教育のあり方(予定)	①歯学部教員 ②上野 武治 (元 リハビリテーション科学部教授)	中止

③各学部・研究科 FD 活動(2019 年度 実施状況)

【薬学部・薬学研究科】

No.	開催日時	実施内容	講師等	参加者数
1	8 月 28 日(水) 16:00~17:00	第 29 回薬学教育・研究談話会[学部・研究科 FD] ① 製薬企業における創薬研究 -現状と将来展望- ② 低酸素応答における遺伝子発現の制御	① 西 剛秀 教授 ② 中川 宏治 教授	教員 38 職員 1 大学院生 3 学生 1

No.	開催日時	実施内容	講師等	参加者数
2	9月27日(金) 16:00~17:30	薬学研究科 FD セミナー[研究科 FD] プレクスピラゾールの研究開発の経緯とその薬理学的特性	菊地 哲朗 (大塚製薬株式会社 医薬品事業部)	教員 21 職員 1 大学院生 1 学生 6
3	2月14日(金) 16:00~17:30	薬学研究科 FD 講演会[研究科 FD] ①~薬剤師離職の失敗を乗り越えろ!!~ 技術は未来の医療を救えるか?ロボット調剤システムの導入による薬剤師業務のサポート ②業務の機械化による薬剤師の科学的業務の見直しについて	①大川原 淳 (大川原脳神経外科病院 理事長) ②八巻 静香 (大川原脳神経外科病院 薬剤部主任)	教員 19 職員 1 大学院生 1 学生 4

【歯学部・歯学研究科】

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	4月5日(金) 17:15~18:30	第1回歯学部 FD 研修会[学部 FD] 111回国家試験の分析と112回国家試験に向けての傾向と対策	青木 敏、中本 恵太郎、三井 教裕 (DES 歯学教育スクール)	教員 55 大学院生 4
2	5月8日(水) 17:15~19:00	第2回歯学部 FD 研修会[学部 FD] 各分野における111回国家試験の分析と112回国家試験に向けての対策	歯学部国家試験対策実行委員	教員 70 大学院生 4
3	2月13日(木) 17:15~18:30	第4回歯学部 FD 研修会[学部 FD] 留年率低減に効果的な教育及び優秀な学生確保を考える	棚橋 伸夫 (一般社団法人未来教育サポート 代表理事・教育コンサルタント)	教員 36 大学院生 4
4	3月5日(木) 17:15~18:30	第5回歯学部 FD 研修会[学部 FD] ①禁煙教育について(予定) ②禁煙教育のあり方(予定)	①歯学部教員 ②上野 武治 (元 リハビリテーション科学部教授)	中止
5	3月27日(金) 10:00~11:45	第6回歯学部 FD 研修会[学部 FD] CBT 問題作成時の注意点	共用試験実施機構派遣タスクフォース ①小川 匠(鶴見大学教授) ②川端 重忠(大阪大学教授)	中止

【看護福祉学部・看護福祉学研究科】

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	9月27日(金) 17:30~19:00	看護福祉学研究科 FD セミナー[研究科 FD] 科研費申請ノウハウ -採択になる申請書とは-	岡田 益男 (東北大学特任教授・名誉教授)	教員 25 大学院生 3 職員 3
2	12月6日(金) 17:10~18:40	看護福祉学研究科 FD セミナー[研究科 FD] 看護・福祉領域の研究におけるエスノグラフィ	道信 良子 (札幌医科大学医療人育成センター 教養教育研究部門准教授)	教員 28 大学院生 4
3	12月18日(水) 14:30~16:00	看護福祉学部 FD セミナー[学部 FD] 新カリキュラム実施に向けての意見交換会	①三川 清輝 広報部次長 ②遠藤 紀美恵 講師	教員 32
4	2月28日(金) 15:30~16:00	看護福祉学部 FD セミナー[学部 FD] 地域における大学生の学びの意義と課題 ~オリンピック・パラリンピックは共生社会実現の契機となるか?~	新藤 こずえ (上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授)	教員 24

【心理科学部・心理科学研究科】

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	1月14日(火) 11:00~12:00 当別 C	心理科学部・心理科学研究科合同 FD 研修会[学部・研究科 FD] 心理学実験の指導におけるソナシステムの活用	真島 理恵 講師	教員 9 職員 2 学生 2
	1月21日(火) 11:00~12:00 あいの里 C			教員 5 職員 2 大学院生 10

【リハビリテーション科学部・リハビリテーション科学研究科】

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	10月4日(金) 17:00~18:30	第1回リハビリテーション科学部FD研修会[学部 FD] 新指定規則の改定のポイントについて	鈴木 孝治 (藤田医科大学 医療科学部 教授)	教員 22 学外 9 職員 2
2	10月17日(木) 17:10~18:30	第1回大学院リハビリテーション科学研究科FD研修会[研究科 FD] 臨床研究に関する規制と実践 -臨床研究法の施行による研究倫理や研究方法に関して-	寺元 剛 (富士大学附属病院 臨床研究管理センター 特命教授)	教員 23 学生 2

3	11月 5日(火) 17:15~18:30	第2回リハビリテーション科学部FD研修会[学部FD] いまさら聞けないAED-もしあなたの前で学生が倒れたら-	川尻 智也、齊川 孝俊 (当別消防署 救急課 救急救命士)	教員 17 職員 2
4	11月 12日(火) 17:15~18:30	第3回リハビリテーション科学部FD研修会[学部FD] いまさら聞けないAED-もしあなたの前で学生が倒れたら-	加藤 英司、齊川 孝俊 (当別消防署 救急課 救急救命士)	教員 7 職員 8
5	11月 27日(水) 17:00~18:00	リハビリテーション科学部FD研修会(研修会・セミナー参加報告) [学部FD] ①初年次教育の実践報告 ②第1回OSCE研修会	①中村 宅雄 助教 ②山根 裕司 助教	教員 23 職員 1
6	1月 31日(金) 17:10~18:45	第4回リハビリテーション科学部FD研修会[学部FD] 情報共有システムにおける著作権対応について(予定)	安藤 和宏 (東洋大学法学部 教授)	教員 23 職員 1

【医療技術学部】

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	4月 19日(金) 16:00~17:30	第1回医療技術学部FD研修会[学部FD] 発達障害傾向のある学生への対応と合理的配慮	金澤 潤一郎 准教授	教員 17
2	5月 10日(金) 8:30~9:20	第2回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] がん治療を目指した蛋白質研究とこれまでの教育経歴	藏満 保宏 教授	教員 17
3	6月 7日(金) 8:30~9:20	第3回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] 私の経験と神経検査の楽しみ	小野 誠司 助教	教員 14
4	7月 12日(金) 8:30~9:20	第4回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] がん細胞の不死化を陰であやつる悪役について	遠藤 輝夫 教授	教員 17
5	9月 6日(金) 9:30~10:30	第5回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] 臨床の現場で学んだこと	沖野 久美子 助教	教員 15
6	10月 4日(金) 8:30~9:20	第6回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] これからの予防医学を考える	丸川 活司 講師	教員 17
7	11月 1日(金) 8:30~9:20	第7回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] 演題:北海道医療大学における英語の役割と可能性を考える -第二言語習得研究の観点から-	白鳥 亜矢子 講師	教員 17
8	3月 6日(金) 10:30~12:00	第8回医療技術学部FD研修会(あいの里セミナー)[学部FD] AIを利用した教育支援(予定)	二瓶 裕之 教授 西牧 可織 助教	教員 17

【全学教育推進センター】

No.	開催日時	実施内容	講師	参加者数
1	12月 16日(月) 15:00~16:45	全学教育推進センター講演会 多様な学生に対する教育効果の向上を目指して	棚橋 伸男 (一般社団法人未来教育サポート 代表理事・教育コンサルタント)	教員 25 職員 4

④教職員派遣研修(2019年度実施状況)

No.	セミナー等名称	日程	会場	主催	本学参加者
1	「FUJITU 文教ソリューション Unified-one 統合データベース勉強会・情報交換会」	9/13(金)	富士通株式会社 北海道支社(札幌)	富士通株式会社	IR課/三浦次長・細川係

(8)教育向上・改善プログラム

「教育向上・改善プログラム」は、本学で行われる教育の質の向上または改善に資する取組を支援することにより、教育の改善・改革を進めることを目的に、学長裁量経費である重点配分教育・研究費の一部を原資に、学内公募による競争的資金に係る事業として、2015年度(公募開始は2014年度)から実施している。

本プログラムの概要は以下のとおり。

- ① 対 象:各学科(専門学校を含む)の教育の質の向上・改善に資する取組。
- ② 応募方法:毎年1~2月に公募。応募は学科単位とし、一学科からの応募数は制限しない。
- ③ 選定方法:審査は「教育向上・改善プログラム選定委員会」が行い、毎年3~5件を3月中に選定。
- ④ 実行方法:選定プログラム1件あたり100万円を限度に予算配付(学長裁量予算)。プログラム実行期間は1~3年間。期間中の予算繰り越し可。予算執行責任者は、学部長、学科長または学校長。
- ⑤ 成果報告:毎年3月末に(中間)報告書を提出。報告書は学内イントラで公表。成果報告(発表)会の開催。

教育向上・改善プログラム 申請・選定状況

学部・学科等	2018年度		2019年度		2020年度	
	申請	選定	申請	選定	申請	選定
薬学部	0	0	1	0	2	1
歯学部	1	0	2	1	2	1
看護福祉学部						
看護学科	0	0	1	1	1	0
臨床福祉学科	0	0	1	1	0	0
心理科学部						
臨床心理学科	1	1	2	1	1	0
リハビリテーション科学部						
理学療法学科	1	1	1	0	0	0
作業療法学科	1	0	0	0	0	0
言語聴覚療法学科	0	0	0	0	0	0
医療技術学部	-	-	-	-	0	0
情報センター	1	1	0	0	0	0
全学教育推進センター(再掲)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)	(0)
歯科衛生士専門学校	1	1	0	0	1	0
計	6	4	8	4	7	2